

InstaCote



ENGINEERING SERVICES & ENVIRONMENTAL COATINGS

プロジェクト紹介

件名：原子力発電所の解体①

場所：フンボルト湾原子力発電所

期間：2010年2月～現在

契約者：Pacific Gas & Electric (PG&E)

エンジニア：Richard Hogue、Rock Neveau

プロジェクト概要：

発電所解体に関して、汚染されたダクトと BWR 原子炉部品を安定させるために、噴霧機器と現場人員の訓練サポートとエンジニアリング計画を提供。原子炉システムを安定させるために、最適な手段を決定する戦略会議にプロジェクト管理者と共に参加。現場に出向き、計画除染管理の指示と製図の見直しを実施。選択された汚染管理製品を塗布・注入するために必要な機器と使用方法を PG&E 作業員に訓練。安定塗膜と発泡剤の塗布時に、現場で工学技術ガイダンスと技術サポートを提供。

工学管理：

湿潤剤 CC WET™ を使用することで、遊離性放射性物質粒子が、発電所の解体中に飛散するのを防いだ。この湿潤剤の使用により、空気汚染問題を減少させ、またその可能性を防ぐ適切な処理が行えた。遠隔噴霧技術を、高圧タービンや一次・二次熱交換器、関連ダクト等を安定させるために使用。また庭用スプレーを用いて、一次冷却水と復水配管システムに湿潤剤を直接噴霧した。

遊離性汚染物質を永久に封じ込めるために、庭用スプレーとエアレス吹き付け器で、原子炉配管システムの内外部に、固定剤コーティング CC FIX™ を塗布した。

換気ダクトの縮小切断中の内部浮遊汚染を管理するために、発泡剤 Autofroth® を原子炉換気ダクトに注入した。

使用技術：

庭用スプレーと Dynafoggers® を使用し、湿潤剤 CC WET™ を噴霧した。固定剤 CC FIX™ は、エアレス吹き付け器と庭用スプレーを使用し噴霧した。BASF SL 330 発泡システムを使用し、Autofroth® 発泡剤を注入した。

結果：

計画管理指示が実行された。噴霧技術の使用により、原子炉タービンと熱交換器を遠隔で安定させることが可能になった。現在まで、安定化された機器とシステムの解体作業による放射線空気中飛散と放射性物質の拡散は見られていない。